

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
インターンシップ (I n t e r n s h i p)	選	企業等関係者	第1，2学年 メカトロニクス工学専攻	学修単位 2	集中研修							
授業概要	国、地方公共団体、企業、大学院において、メカトロニクス工学に関わる技術の研修・実習を10日（80時間）以上行う。											
到達目標	実社会において、メカトロニクス工学の専門的技術の重要性や技術の具体的な活用方法を習得する。 (C-2, C-3/d2, g)											
評価方法	実習報告書の内容をもとに判断・認定する。											
教科書等												
内 容	(110分授業を15回実施する。なお、1回の自宅演習は240分を目処にする。)				学習・教育目標							
第1回	4－7月：インターンシップ内容の説明			(自宅演習)	C							
第2回	和歌山県インターンシップ制への登録			(自宅演習)	C							
第3回	受け入れ機関の紹介			(自宅演習)	C							
第4回	実習申込み・決定			(自宅演習)	C							
第5回	8－9月：実習			(自宅演習)	C							
第6回	実習報告書作成			(自宅演習)	C							
第7回	9－12月：実習報告書提出			(自宅演習)	C							
第8回				(自宅演習)	C							
第9回				(自宅演習)	C							
第10回				(自宅演習)	C							
第11回				(自宅演習)	C							
第12回				(自宅演習)	C							
第13回				(自宅演習)	C							
第14回				(自宅演習)	C							
第15回				(自宅演習)	C							
第16回	1月：大学院でのインターンシップ申し込み			(自宅演習)	C							
第17回	2月：配属先決定			(自宅演習)	C							
第18回	3月：実習			(自宅演習)	C							
第19回	実習報告書作成			(自宅演習)	C							
第20回	4月：実習報告書提出			(自宅演習)	C							
第21回				(自宅演習)	C							
第22回				(自宅演習)	C							
第23回				(自宅演習)	C							
第24回				(自宅演習)	C							
第25回				(自宅演習)	C							
第26回				(自宅演習)	C							
第27回				(自宅演習)	C							
第28回				(自宅演習)	C							
第29回				(自宅演習)	C							
第30回				(自宅演習)	C							
(特記事項) 90分授業の場合は、上記内容を15週間に18回の授業で行う。		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a)d	d2b)c	e	f	g	h
		本校の学習・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
						◎				◎		

※合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

インターンシップ

メカトロニクス工学の技術について、実社会での具体的な活用方法や技術習得の重要性を体験する。学外実習の概要は次のとおりである。

1. 企業等の場合

①実習機関の決定

4－7月：学外実習内容の説明

和歌山県インターンシップ制への登録

受け入れ機関の紹介

実習申込み・決定

②実習・体験学習

8－9月：実習

実習報告書作成

③実習報告書の提出

10－12月：実習報告書提出

2. 大学院の場合

①実習機関の決定

1月：大学院でのインターンシップ申し込み

2月：配属先決定

②実習・体験学習

3月：実習

実習報告書作成

③実習報告書の提出

4月：実習報告書提出